

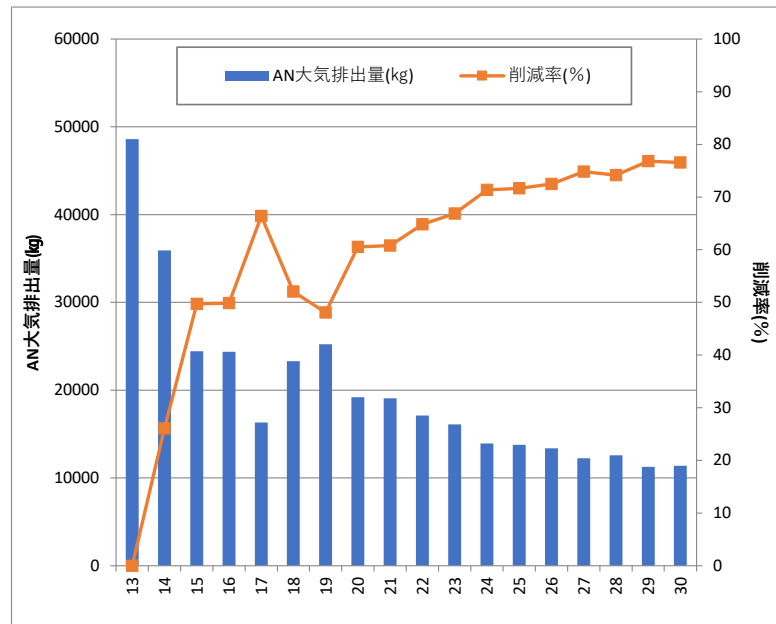
令和元年9月20日

日本アクリロニトリル工業会
東京都千代田区神田須田町2-9

アクリロニトリル（AN）の排出抑制の取り組み状況および今後の見通しについて

1. ANの排出削減の実績推移

年度	AN大気排出量(kg)	削減率(%)
H13	48,601	—
14	35,931	26.1
15	24,441	49.7
16	24,361	49.9
17	16,331	66.4
18	23,311	52.0
19	25,240	48.1
20	19,190	60.5
21	19,070	60.8
22	17,100	64.8
23	16,110	66.9
24	13,930	71.3
25	13,780	71.6
26	13,370	72.5
27	12,240	74.8
28	12,570	74.1
29	11,270	76.8
30	11,390	76.6



※日本AN工業会の会員企業のPRTR届出データ(大気排出量)の合計

2. 排出削減の取り組み状況

これまで、ANの大気排出に対して以下の施策を実施してきており、平成30年度のANの大気排出量は11,390kgと平成13年度対比で76.6%の削減率となっている。

①排出削減

- ・ベントスクラバー設置、ベントスクラバー処理ガスの焼却（クローズド化）
- ・排ガス焼却炉、排水処理設備の運転条件管理

②排出管理

下記測定を定期実施し、濃度把握するとともに異常時には迅速に対応

- ・各所AN濃度の分析：製造所敷地境界、廃ガス排出箇所（焼却炉煙突など）、作業環境（分析室、制御室など）
- ・排水中のCOD、T-N管理

平成28年6月の3省合同審議会決定以降も、AN工業会内においてANの排出削減策について情報交換を行い、削減対策の水平展開を検討するなどして、AN工業会一丸となって更なるANの大気排出削減に努めている。

3. 今後の見通しについて

ANの排出削減強化のための新たな設備投資により、令和5年ごろには、対象事業所のANの大気排出量合計は10,000kg未満に削減されていく見込みであり、平成28年3月の3省合同審議会においてPRTR情報に基づく排出源ごとの暴露シナリオによる評価で指摘されたりリスク懸念箇所は解消されていくものとする。

以上